

令和2年度

下水道事業会計当初予算の概要

1. 下水道事業会計当初予算の概要

(1) 予算規模

※ 四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある

(単位:百万円)

当初予算		令和2年度 A	令和元年度 B	前年度比	A - B
予算規模		20,567	21,302	▲ 735	▲ 3.4%
収益的支出 (3条予算)		10,975	11,172	▲ 197	▲ 1.8%
資本的支出 (4条予算)		9,592	10,130	▲ 538	▲ 5.3%

(2) 予算のポイント

【前年度比較】

- ・ 予算規模 は、▲7.3億円 (▲3.4%) H26年度 (会計制度見直し) 以降最小
西部バイパス幹線工事や、企業債支払利息・減価償却費の減など
- ・ 下水道使用料 は、44.1億円 (+1.3%) 消費税率引き上げに伴い過去最大
- ・ 一般会計繰入金 は、37.9億円 (▲4.9%) 企業会計適用 (H23) 以降最小

【重点事項】

- ・ 浸水対策事業の推進 (日新ポンプ場放流きよ、宮川雨水幹線工事等) 8.5億円
- ・ ストックマネジメント、総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の推進 19.2億円
- ・ 積極的な収入の確保 (MICS・バイオマス発電収入、広告料収入) 2.3億円

2. 業務計画

区 分		令和 2 年度	令和 元 年度	前年度比較	
				増減	率
水 洗 化 戸 数	戸	122,500	119,400 (121,900)	3,100 (600)	2.6% (0.5%)
水 洗 化 人 口	人	249,500	250,500 (248,800)	▲ 1,000 (700)	▲ 0.4% (0.3%)
年 間 総 処 理 水 量	m ³	41,110,920	41,127,170	▲ 16,250	0.0%
一 日 平 均 処 理 水 量	m ³	112,630	112,370	260	0.2%
年 間 総 有 収 水 量	m ³	27,587,430	27,589,560	▲ 2,130	0.0%
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	75,580	75,380	200	0.3%
下 水 道 処 理 人 口 普 及 率	%	63.9	64.2 (63.7)	▲ 0.3 (0.2)	—

※ () 内の数値は、R元年度見込み値及びその比較

※ R元年度は、閏年である

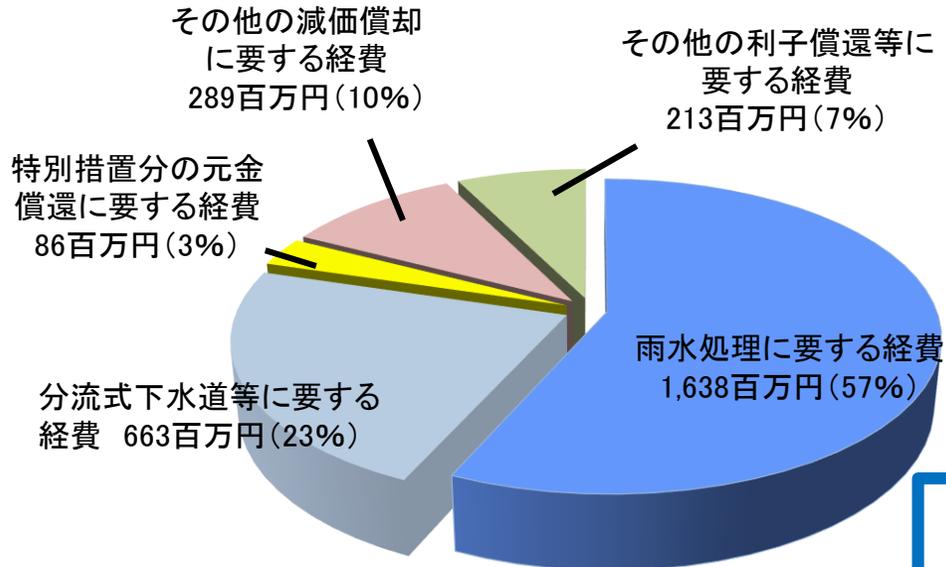
3. 重点事項（具体的な取組）

浸水対策の推進		8.5億円
新 日新ポンプ場放流きよ工事	シールドマシン設計・製作 全体事業費 15.9億円(R2~R4) 債務負担行為(R3~R4 12.2億円)	3.2億円
新 宮川雨水幹線工事 など	開削 L = 176m	3.7億円
ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の計画的な実施		19.2億円
拡 スtockマネジメント計画	管きよ改築工事等 管更生等 L = 3,660m 4.6億円 蓋交換 N = 200基 0.5億円	5.1億円
拡 総合地震対策	施設改築・更新工事等 総合地震対策工事 管更生 L = 476m 2.4億円 人孔浮上対策 N = 10基 0.1億円 総合地震対策耐震診断業務等委託 管きよ L = 60.2km 0.7億円 処理場（2施設）ポンプ場（5施設） 2.1億円	8.7億円 2.5億円 2.8億円
経営健全化の推進・スマイルプランの推進・積極的な収入の確保		
経営健全化の推進	拡 包括的民間委託(処理場等) 全体事業費 50.3億円(R元~R5) 債務負担行為追加(R3~R5 8,790万円)	10.1億円
スマイルプランの推進	職員給与費の減 適正な人員配置、時間外削減	▲0.2億円
積極的な収入確保	MICS収入、バイオマス発電収入 新 広告料収入(施設フェンス等に看板設置)	2.3億円

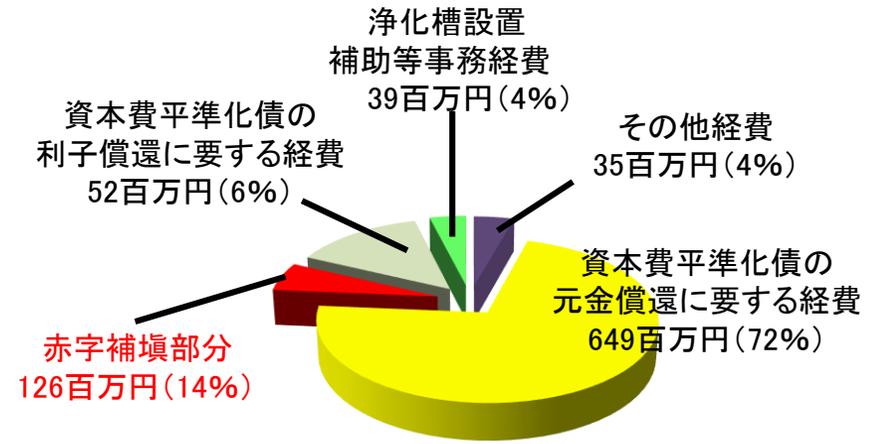
4. 一般会計から下水道事業会計への繰入金

(単位:百万円)

当初予算	令和2年度	令和元年度	増減	備考
下水道事業負担金 (3条予算)	2,929	3,305	▲ 376	減価償却・利子(雨水処理に要する経費、 分流式下水道等)など
下水道事業補助金 (3条予算)	127	1	126	水洗便所貸付金事務費 赤字補填
下水道事業出資金 (4条予算)	735	678	56	資本費平準化債(元金) 特別措置分(元金※交付税措置あり)
合計	3,791	3,984	▲ 194	
繰出基準内	2,889	3,248	▲ 359	総務省通知によるもの
繰出基準外 (うち赤字補填)	902 (126)	736 (-)	165 (126)	高松市の取決めによるもの

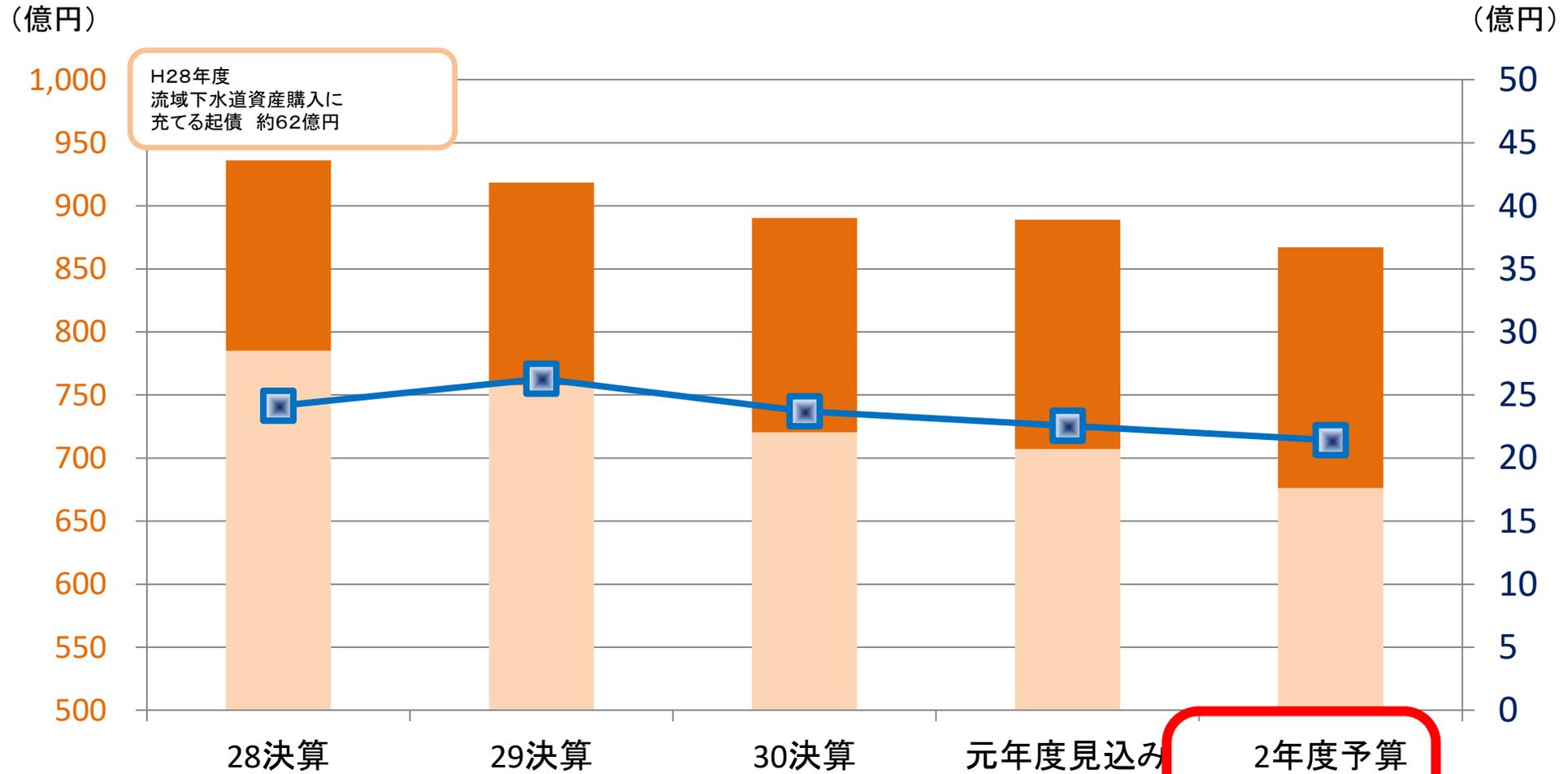


繰出基準内の内訳
2,889百万円【76%】



繰出基準外の内訳
902百万円【24%】

5. 企業債残高 及び 内部留保資金残高



	28決算	29決算	30決算	元年度見込み	2年度予算
企業債残高	936.0	918.4	890.4	889.0	867.1
建設改良債等	785.1	757.6	720.4	707.1	676.2
資本費平準化債	150.8	160.8	170.0	181.9	190.9
内部留保資金残高	24.1	26.3	23.7	22.6	21.4